

開教

Kaikyo

HONEN BUDDHISM

JAPAN, HAWAII, NORTH AMERICA, SOUTH AMERICA, BRISBANE, PARIS

浄土宗開教振興協会
会報〔開教〕

ハワイ
開教区

ファーストステップ保育園 5周年

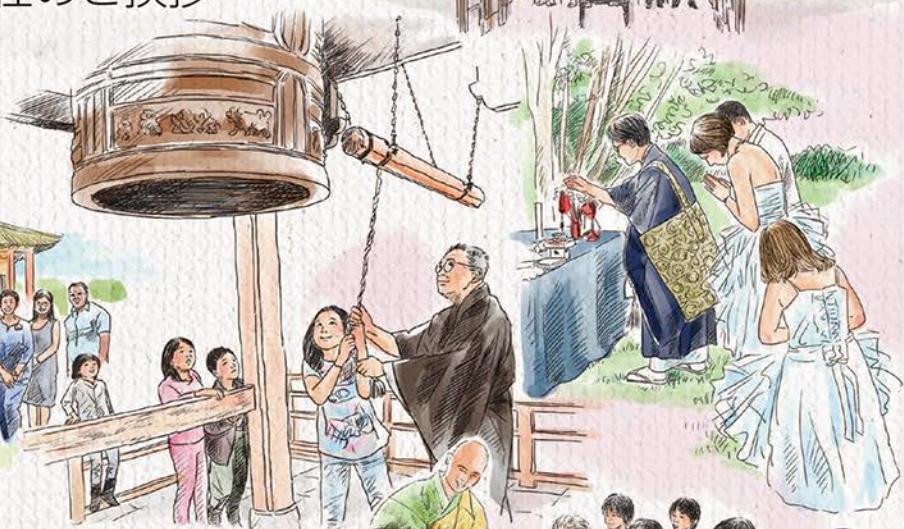
ヒロ明照院アパート
第1棟完成

ハワイ開教区開教使・
開教助員研修会

浄土宗ハワイ開教区
開教総監就任のご挨拶

北米
開教区

北米開教
活動報告



南米
開教区

浄土宗南米開教65周年

カーボルニア
開教地

高齢者と
子供を対象とした活動

フランス
開教地

浄土宗ヨーロッパ佛教センター
創立10周年を迎えて

国内開教
通信

茨城県小美玉市 清淨院
沖縄県豊見城市 聖蓮寺



2 ご挨拶

浄土宗開教振興協会会長
浄土宗宗務総長 豊岡 錠尔



…海外開教…

3 ファーストステップ保育園5周年
ヒロ明照院アパート第1棟完成

ハワイ開教区 ヒロ明照院主任開教使 宮崎 潤心

4 ハワイ開教区開教使・開教助員研修会
ハワイ開教区 コロア浄土院主任開教使 石川 広宣

5 活動報告

北米開教区開教監 田中 孝道
本院主任開教使 後根 定彌



7 浄土宗南米開教65周年

南米開教区開教監 佐々木 良法

9 高齢者と子供を対象とした活動
オーストラリア開教地主事 ウィルソン哲雄11 浄土宗ヨーロッパ仏教センター
創立10周年を迎えて

フランス開教地主事 高僧 光隆

13 浄土宗ハワイ開教区 開教総監就任のご挨拶

ハワイ開教区開教総監 檀柴 裕文



…主催事業…

14 第8回 開教公開カンファレンス

「未来の布教へのヒント」ゼロからの檀信徒布教～国内開教寺院を参考にして～

元浄土宗国内開教使 浄土宗開教振興協会理事
浄土宗 林海庵 住職 笠原 泰淳



…国内開教…

15 国内開教通信

茨城県小美玉市 清淨院

国内開教使 清淨院住職 堤 忠春



17 沖縄県豊見城市 聖蓮寺

国内開教使 聖蓮寺住職 大和田 聖二



19 各開教区開教使名簿

20 浄土宗開教振興協会

平成28年度 会員名簿

- 浄土宗開教振興協会 役員名簿
- 浄土宗開教振興協会 事業報告

27 浄土宗開教振興協会

平成28年度 決算書

29 平成28年度 教區別正会員比率

30 海外・国内開教使募集

編集後記

ご挨拶



淨土宗開教振興協会会長
淨土宗宗務総長

豊岡 鎌尔

淨土宗の海外開教については、再三申しあげているのですが、考え方を考へておられるようでした。私の考えであります。

その場合「日本に居て海外のことはわからないだろう」というご批判を頂き、「ごもっともです」であります。昨年4月、開教120年の歴史を有するハワイ開教区を訪問しました。

オアフ島から、ハワイ島・カウアイ島にマウイ島と強行日程でありましたが、現地の開教使やメンバーの皆さんの現状を見ることができました。

それぞれの寺院が、それぞれの考え方で運営されているわけですが、残念ながらメンバーの心に法然上人のみ教えが浸透しているという感じではありません。しかし寺院としては、立派にやっておられるな、という印象がありました。

120年もたつますとメンバーも3世、4世と世代交代が進み、また、開教使も、過去を知る方が少なくなつてまいりました。

開教使の中には、寺院の収入のみでは生活に支障をきたすということで、観光案内等々で寺院活動を支えている方もいる他、また寺院もそれが収益事業を行ない運営しておられるという話を伺い、納得したものであります。

いずれは淨土宗ハワイ教区を、ということも考えられるということでありました。

明年は開教125周年を迎えるということで、種々の企画を考えておられるようでした。

法は人によつて広まると申しますが、開教使の努力が報われているということでしょう。ますますのご活躍をお祈りし、初めてのハワイ開教区訪問を終えました。

再三申しあげて恐縮ですが、寺院の運営も大切ですが、法然上人のみ教えが広がつていくことを願つております。

尚、明日からオーストラリア開教地を訪問の為、出国いたします。日本とはいいろいろな繋がりを持つた国でありますので、ウィルソン開教使の努力によつて教えが広まり、存在感を示していくようあります。

やはり法は人によつて広まるのでありますから、ますますのご努力をお願いしてまいりうと思つております。

淨土宗開教振興協会としても支援は惜しみません。努力している開教使には、それなりのサポートをしていきたいと思つております。

世界に共生を!の淨土宗の思いを述べさせていただきました。

合掌



ハワイ開教区
ヒロ明照院主任開教使

宮寄 潤心



保育の様子

子供達に仏教や日本文化に触れてもらう

カーチスタウン浄土院境内にあるファースト・ステップ保育園は、2018年4月で開園5周年になります。園の開設にあたっては、宮林社会国際局長(当時)ならびに職員の方々、浄土宗保育協会白旗理事長(当時)ならびに理事、会員の方々、カーチスタウン浄土院有志、地元関係者、檜柴開教使(現総監)に物心両面で大変お世話になりましたことを、この場を借りてあらためて御礼申し上げたく存じます。

保育園開園を思ったのは、ハワイ島北部コハラ地区にあるハヴィ浄土院主任(コハラ浄土院・ハマクア浄土院兼務)をしていました2008年ごろのことです。100年ほど前、ハワイには各地に大規模な製糖農場があり、そこで働くために多くの日本人が出て稼ぎに来ました。半数ほどがハワイに定住し、子孫を残しました。製糖農場は1970年ごろから相次いで閉鎖し、コハラ地区を含む多くの地域で日系人は流出しました。私が赴任した2002年にはコハラ地区の日系人は減少と高齢化がかなり進んでおり、寺門は衰退していました。布教と財源確保のために、寺の集会堂に認可保育園を設置する

田舎の小さな寺に囲まれては大ことです。費用と人員は私が責任を持つ、ということを条件に何とか了解してもらいました。そ

準備は大変難航しました。そ

うした中、2009年9月に同じ島のヒロ明照院(カーチスタウン浄土院・ハカラウ浄土院兼務)に転任しました。転任当時、カーチスタウン浄土院は集会堂のある教育団体に賃貸していたのですが、その団体が別のところに移ることになりました。そこで教団理事たちにハヴィ浄土院の時と同様の条件で保育園の話を持ちかけ、納得してもらいました。いろいろと複雑なこともありました。知人の元保育士ギヨウトク(行徳)ロリータ女史に頼み込んで園長先生になつてもらい、多くの人々の協力を得て2013年4月に認可がありました。

私は週に一度、園児にジャータカや日本の民話を聞かせたり、簡単な日本語を教えたりしています。また、花まつりやお盆には園児小さな保育園ですが、なんとか続けております。園児たちに少しでも仏教と日本文化に触れてもうよう今後も努力してまいります。

期成委員会は毎回専門家を呼んで検討に検討を重ね、教団理事会に企画を報告しました。企画の概要は、平屋の高齢者

ファーストステップ 保育園 5周年

ヒロ明照院アパート 第1棟完成

2016年10月のヒロ明照院理事会で、教団理事長マツナミ(松並)・ロイド氏は、境内地に賃貸物件を建設する期成委員会の設立を提案し、可決されました。

ヒロ明照院は、清水觀碩上人(後の東京九品仏淨眞寺管主)によつて1911年に開山しました。ハワイ開教区では別院に次ぐ規模で、熱心な檀信徒が多く、ハワイ開教区理事の多くを占めています。婦人会、青年会のほか、傘下にボーカスカウト、月かけ踊り会(盆踊り愛好会)があり、境内には理事の一人が運営する保育園もあり、ハワイの日系仏教寺院全体が衰退する中、ある程度の寺勢を維持しています。

私は週に一度、園児にジャータカや日本の民話を聞かせたり、簡単な日本語を教えたりしています。また、花まつりやお盆には園児小さな保育園ですが、なんとか続けております。園児たちに少しでも仏教と日本文化に触れてもうよう今後も努力してまいります。

期成委員会は毎回専門家を呼んで検討に検討を重ね、教団理事会に企画を報告しました。企画の概要は、平屋の高齢者

向けアパートであること、リスクならびに家賃収入に依存しそぎる事態を避けるために大規模なものは建てない、1棟2世帯(1世帯2部屋)寺の境内地は最大3棟建てるがまず借入せず、できれば檀信徒を優先的に入居させる、といったものでした。

理事会の承認後、2017年5月から工事が始まりました。

すぐに檀信徒のなか入居の申し出が2件ありました。

ヒロ明照院の檀信徒は多士

済々で、いろいろな道具を持って

いる人がいます。

建設費用を抑

えるために、整地・タイル貼り・配管・トイレ取り付け・備付家

具の取り付けなどは自分たちで

行い、相場の7割弱の費用で

1棟(2物件)がほぼ完成しま

とはいえ檀信徒の減少と高齢化はすすんでおり、決定的な打

開策は見いだせていない状況にあります。こうした中、将来の財

源確保のために境内地に賃貸

物件を建設するという意見が一部檀信徒から上がりました。

マツナミ理事長はこれに賛同し、期成委員会設立のはこびとなりました。

また、近々2棟目に取り掛かる予定です。今後とも皆様のご理解とご協力ををお願いいたします。

2018年1月、御忌ならびに檀信徒総会の際に儀式を行い、春には入居の予定となつております。

また、近々2棟目に取り掛かる予定です。今後とも皆様のご理

解とご協力ををお願いいたします。



基礎工事の様子



完成したヒロ明照院アパート



ハワイ開教区開教使・開教助員研修会

ハワイ開教区 コロア浄土院主任開教使 石川 広宣(ハワイ開教区開教使会書記)



各島より開教使・助員・寺族が集まり、貴重な意見交換会となった

ハワイ開教区では、2017年12月22日、23日、2年ぶりに開教使・開教助員研修会を開催した。従来、この研修会は、ハワイ開教区を長年にわたり支援された故宮林昭彦台下をはじめ諸先生方が、開教区への支援と激励を兼ねて来布、仏教の講義が中心の研修会であったが、昨年は特に開教区内の人事が一新。檜柴裕文開教総監、江崎晃司開教使会会長の新体制のもと、開教使、開教助員の話し合いを中心とした研修会となつた。

会場は、オアフ島のハワイ浄土宗別院。ハワイ主要4島に点在する浄土宗13カ寺の主任開教使、助員、寺族が計21名が参加。開教使要後、ハワイで第一線の通訳者として活躍されるケイコ・グラ

ントさんによる講演会と開教使・開教助員の意見交換会、そしてハワイ浄土宗寺庭婦人会総会が催された。

ケイコさんの講演では、全員がテーブルを囲みくつろいだ雰囲気の中、日本での英語の習得から通訳として活躍されるに至った経緯・経験を、時にユーモアを交えて話された。有名人との交流談など興味深かつたが、通訳の心得として、広く社会に関心をもつて、自分の興味対象を広げていくことを勧められた。また、英語上達の秘訣としては、英文を音読で読み繰り返すこと、普段から積極的に話すこと、そして聞くことの3点を強調された。特に英語では There is no Stupid question と言われるように、どんな質問でも決して愚問ではない、分からぬことがあつたら積極的に聞く、まさに「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」であり、失敗談の披瀝もあった。最後に、通訳者は黒子のような存在で、自らの意見や価値を主張してはいけないという。あくまでも「加えず、削らず」が原則で、しかも通訳が「目立たない」ことが重要である。法然上人のみ教えを、加え

たり、削ったりすることなく、英語で正しく伝えていく努力の必要性を痛感した。

その後、江崎会長の司会により意見交換会が進行。冒頭の説明では、これまで開教区の問題点は、繰り返し指摘され話し合われたが、多くの寺で、解決への道は遠く険しいのが現状。ある意味、問題点も出尽くした感もある。今回の意見交換会では、視点をかえ、問題点を話しあうではなく、自分や知人がこれまで行った活動の中で、手こたえのあったこと、よかつたことを発表し情報を共有することとなつた。

数例をあげると、多くの寺院が年末の餅つきをやめる中で、逆に餅つきを始め集客に成功したり、四季折々の日本文化を紹介するイベントの開始や書道教室、あるいは現地に住む日本人を対象としたサンデースクールの主催。またガレージセールを毎月行うことによってそのサンデースクールの運営費を捻出できているとの報告もあった。そのほか、お盆の供養で、塔婆に代わるものとして、旗を使用し故人の名前や英語でのメッセージを書くという新しい試みや、保育園の運営や高齢者住宅アパートの建設など、将来

の需要が見込め且つ寺院の財源となりうるプロジェクトをすでに進行させている寺院もあった。他にも、ペット納骨やユーチューブ法話、日系人の戸籍謄本取り寄せの手伝いなど、ユニークな試みの説明があつて、貴重な意見交換会となつた。檜柴総監は総括として、優れたアイディアを評価しつつも、まずは実行がすべてであり、今後は行動で第一歩を確実に踏み出していくことを力説された。

翌日、寺庭婦人会総会が2年ぶりに開催されたが、開教助員たちはそれぞれ住む島間で往来がないため、開教使以上にうれしい再会の会議となつた。また、日頃から開教使や寺院の活動を支えてきた助員ならではの意見もあつて、有意義な意見交換、親睦が図られ、研修会を閉会した。

なお、それぞれのアイディアの詳細は割愛しているが、これらの新しい試みは、やがてメディアで取り上げられ、ニュースとなつて、日本に届けば幸いである。

最後に、この研修会の開催を全面的に指導、支援下さった浄土宗社会国際局、浄土宗開教振興協会、関係各位にこの場を借りまして厚く御礼申し上げます。

合掌

活動報告

北米開教区開教総監 後根 定靈
本院主任開教使 田中 孝道



北米開教 80周年記念法要集合写真

2017年6月18日、北米開教80周年を記念し、先人の恩を思い未来の世代と寺院の縁が結ばれるのを念じ、「家族」をテーマに「北米開教80周年記念法要」を厳修しました。導師には、深いご縁をいただいている石見教区より本田行敬教区長をお迎えし、山本昌利教化団長はじめ教師5師のご隨喜をいただき、本院メンバーを中心現地信徒約120名が参詣、参詣者共々にお念佛を称えこの勝縁を祝いました。法要中、子どもの学業成就・成長祈願では赤ちゃんから大学生まで36名に灌頂洒水と祈願のお札を受け、回向では参詣者全員が焼香と共に灌頂洒水を授かりました。法要後は、パフェ(食事)と歌や手品の余興を家族で楽しむ一日となりました。

早いもので、2007年に稲岡康純宗務総長(当時導師のもと行われた70周年記念法要から10年が過ぎました。その間の画期的な出来事に2010年

12月開筵の「五重相伝会」(大阪教区大鏡寺)有本亮啓師ご勧誠・教師20名のご隨喜、受者50名・法話聽講者100名参加)と2012年6月の『法然上人800年大遠忌法要』(伊藤唯眞猊下ご親石見教区より本田行敬教区長をお迎えし、山本昌利教化団長はじめ教師5師のご隨喜をいただき、本院メンバーを中心現地信徒約120名が参詣、参詣者共々にお念佛を称えこの勝縁を祝いました。法要中、子どもの学業成就・成長祈願では赤ちゃんから大学生まで36名に灌頂洒水と祈願のお札を受け、回向では参詣者全員が焼香と共に灌頂洒水を授かりました。法要後は、パフェ(食事)と歌や手品の余興を家族で楽しむ一日となりました。

早いもので、2007年に稲岡康純宗務総長(当時導師のもと行われた70周年記念法要から10年が過ぎました。その間の画期的な出来事に2010年

12月開筵の『五重相伝会』(大阪教区大鏡寺)有本亮啓師ご勧誠・教師20名のご隨喜、受者50名・法話聽講者100名参加)と2012年6月の『法然上人800年大遠忌法要』(伊藤唯眞猊下ご親石見教区より本田行敬教区長をお迎えし、山本昌利教化団長はじめ教師5師のご隨喜をいただき、本院メンバーを中心現地信徒約120名が参詣、参詣者共々にお念佛を称えこの勝縁を祝いました。法要中、子どもの学業成就・成長祈願では赤ちゃんから大学生まで36名に灌頂洒水と祈願のお札を受け、回向では参詔者全員が焼香と共に灌頂洒水を授かりました。法要後は、パフェ(食事)と歌や手品の余興を家族で楽しむ一日となりました。

早いもので、2007年に稲岡康純宗務総長(当時導師のもと行われた70周年記念法要から10年が過ぎました。その間の画期的な出来事に2010年

12月開筵の『五重相伝会』(大阪教区大鏡寺)有本亮啓師ご勧誠・教師20名のご隨喜、受者50名・法話聽講者100名参加)と2012年6月の『法然上人800年大遠忌法要』(伊藤唯眞猊下ご親石見教区より本田行敬教区長をお迎えし、山本昌利教化団長はじめ教師5師のご隨喜をいただき、本院メンバーを中心現地信徒約120名が参詔者共々にお念佛を称えこの勝縁を祝いました。法要中、子どもの学業成就・成長祈願では赤ちゃんから大学生まで36名に灌頂洒水と祈願のお札を受け、回向では参詔者全員が焼香と共に灌頂洒水を授かりました。法要後は、パフェ(食事)と歌や手品の余興を家族で楽しむ一日となりました。

早いもので、2007年に稲岡康純宗務総長(当時導師のもと行われた70周年記念法要から10年が過ぎました。その間の画期的な出来事に2010年

口々に「心温まる法要だった」と感想を受けたことは当院一同にとって大きな喜びでした。



年末の大掃除に精を出すメンバーさん達



お盆・お施餓鬼大法要後、婦人会による
ちらし寿司のお弁当がふるまわれた



北米開教 80 周年記念法要 パーティー



北米開教区制作の宗祖法然上人800年大遠忌
法要(右)と五重相伝会(左)DVD

定例法要を運営するのも難しく、参詣者も少数でしたが、婦人会を中心には「皆でお弁当を作り仏前にあげ、参詣者に振舞おう」とお斎を始めました。以来、お斎も昨年通算50回を超えましたが、料理・食事を共にすることで互いに親しくなり個々の寺院への思いも深まるのか、徐々に法要や大掃除への参加者も増えてきました。

当院の参詣者は年齢・言語・出身地も異なり寺院に求めるものも様々ですが、皆アメリカに暮らす方々です。「檀家制度」がないアメリカ社会では、寺院護持のためメンバー・信徒以外に地域社会一般に向けて活動を発信する必要があります。定例

法要が一人でも多くの方が参詣する機会となるよう、御忌に「新春内安全祈願」、秋彼岸で新学期の「学業成就祈願」、十夜に「七五三」を併修します。何が寺院との縁につながるかは様々で、昨年末の大掃除では30名以上の方が雑巾がけ・ベンキ塗り等に努めましたが、その中に3才の娘さんと窓拭く家族が参加、聞けば「今年、記念法要の子どもが参加し、そのお札に」とのことでした。続く大晦日の別時は過去最多の33名が参加し

一時間の木魚念仏を勤めましたが、その多くは普段参詣される方々ではありません。理由は十人十色で「数年前に水子供養を勤めたので」「今年家族が日本で亡くなつたので」「広告を見て」「友人に誘われて」等、ほぼ初めて当院を訪れる方々です。また、昨年10月のラスベガス銃撃事件は多くの南カリフォルニア市民が犠牲となつた深刻な事件でした。直後の十夜法要では冒頭に追悼回向を勤め、参詣者全員で焼香・念仏し犠牲者の冥福を念じる時間を設けました。

こうした布教活動は、アメリカの方々が念仏に触れ自ら「南無阿弥陀仏」と称えていただくための助業の一つです。すぐに実を結ぶことは難しいと思われますが、今後も試行錯誤しながら続けてまいります。昨年の「80周年記念法要」で過去の五重相伝・800年大遠忌という勝縁に得難い教化をいたいたメンバーセンターを中心に約120名のローカルの方々が家族で当院に集い、共に念仏を勤めることはその結果の一つであり、誠に有難く存じます。



七五三

南米開教区開教総監

佐々木 良法

浄土宗南米開教65周年

瑞光上人をはじめ、長崎教区を中心とした若手の本宗教師8名が五重相伝会への出仕の為、

はるばる日本からお越しになります。さらには大本山善導寺様よりも「海外への念佛弘通のため」という御志で、伝巻のご寄付をいただけることとなりました。

檀信徒をはじめ、関係各位の不断なるご尽力により開山10周年という節目の年を無事迎えることができました。

この節目の年に兵庫教区中勝寺藤井大俊上人のご厚意により、阿弥陀如来像をクリチバ日伯寺の御本尊として迎え、開眼式を2018年(平成30年)1月28日の御忌会にて厳修いたしました。本当に素晴らしい阿弥陀如来像をお迎えすることができ、心より感謝申し上げます。

現在、クリチバ日伯寺の活動は非常に活発で、様々な思考を凝らした幅広い活動の結果、あらゆる年齢の檀信徒に対応しておりますとともに、その文化的な宗教プログラムは、他の開教区内寺院においても有効な



本年(平成30年)は、ブラジル日本移民110周年、浄土宗南米開教65周年という記念すべき年であり、この佳き機会に「南米の大地にお念佛の声を!」宣言葉に、南米開教区と世界の念佛弘通、その飛躍の基盤となる檀信徒の信仰を深めることを目的として、以下の日程により「浄土宗南米開教65周年記念五重相伝会」を、開山10周年を迎えるクリチバ日伯寺(平成30年2月9日～11日の3日間)及び開山20周年を迎えるイビウーナ日伯寺(平成30年2月16日～18日の3日間)にて、それぞれ開筵することとなりました。

ありがたいことに、2005年に授戒会の説讖師として来伯された経験もある長崎・法源寺の松野瑞海上人が勧讖師として来伯していただけたこととなつた他、また松野瑞海上人のご子息で元開教使である松野

瑞光上人をはじめ、長崎教区を中心とした若手の本宗教師8名が五重相伝会への出仕の為、はるばる日本からお越しになります。さらには大本山善導寺様よりも「海外への念佛弘通のため」という御志で、伝巻のご寄付をいただけることとなりました。

檀信徒をはじめ、関係各位の不断なるご尽力により開山10周年という節目の年を無事迎えることができました。

この節目の年に兵庫教区中勝寺藤井大俊上人のご厚意により、阿弥陀如来像をクリチバ日伯寺の御本尊として迎え、開眼式を2018年(平成30年)1月28日の御忌会にて厳修いたしました。本当に素晴らしい阿弥陀如来像をお迎えすることができ、心より感謝申し上げます。

現在、クリチバ日伯寺の活動は非常に活発で、様々な思考を凝らした幅広い活動の結果、あらゆる年齢の檀信徒に対応しておりますとともに、その文化的な宗教プログラムは、他の開教区内寺院においても有効な



新たにお迎えした御本尊の開眼式



イビウーナ日伯寺親子信行道場での百萬遍数珠操り



イビウーナ日伯寺親子信行道場集合写真

モデルケースであり、大きな影響を与えており、今後、さらなる寺門の興隆を期待いたしております。

次に本年の活動として取り上げたいのは、「イビウーナ日伯寺で行われた「親子信行道場」でございます。

この「親子信行道場」は、イビウーナ日伯寺で例年開催されており、今年で4回目の開催となる南米開教区の伝統行事であります。

道場は一泊二日という短期間での開催ではありますが、様々な世代の方々が集い、充実した



イビウーナ日伯寺親子信行道場での夕陽のつどい

(平成30年)9月には、故長谷川良信初代南米開教区開教総監が創設した、ブラジルで初めての知的障害児施設「子どもの」が創設から60周年を迎えますことから、これを記念した法要と式典の挙行を予定いたしております。なお、記念法要には、故長谷川良信初代南米開教区開教総監のご子息である、

宗教体験ができる活動の場として注目されており、各寺院からの参加者が毎年増加傾向にございます。

最後になりますが、2018年

長谷川匡俊学校法人大乗淑徳学園理事長御導師のもと、ブラジル全土の浄土宗檀信徒に参列による盛大に執り行う予定でございます。

この「子どものその」の創設60周年は南米開教区にとって非常に重要であり、故長谷川良信初代南米開教区開教総監が掲げた「教育、福祉、宗教の三位一体の活動理念を通して、社会に尽くす」という、我々南米開教区の開教活動の根底にある魂を呼び起こすものであります。



「子どものその」スポーツ大会



「子どものその」作業を行う入所者



老人ホームにて

高齢者と子供を対象とした活動

オーストラリア開教地主事 ウィルソン哲雄

阿弥陀寺では、今年度から子供向けの事業の他に、高齢者を対象とした活動も始めました。高齢者を対象とした活動では、老人ホームへ訪問し、仏教と浄土宗の教義をおよそ90分ほど話します。皆が興味を持つて傾聴してくれることに、いつも嬉しく思います。入居されている方々は、熱心に耳を傾け、良い質問もたくさんあります。昔は薬剤師、教師、牧師であつた方々や、他にも専門職に就いていた方々など、今は現職から退いてはいるものの、まだまだとても聰明な方々もいらっしゃいます。彼らが私からの話を聞き得た分、私自身が彼らからもつと得ている様な気がします。

老人ホームへ訪問する機会は、どこからか私の活動を聞きつけ依頼があるといったもので、2017年を迎えて間もないころ、とある老人ホームから連絡があり、日本の仏教と文化に

ついて話す依頼がありました。私は喜んで即答し、すぐに日時が決まりました。そして迎えた当日、日本人女性が一人、部屋に座っているのに気づきました。日本語で挨拶を交わし、その女性の名前を聞いて驚愕しました。なんと、私が若かりし頃に通つたQueensland大学の教授だったのです。何十年もお会いしていなかつたのですが、ご縁があり予期せぬ再会を果たしたのです。教授もまた同様、私のことを覚えていて下さり、当時の話に花が咲きました。私が大学を卒業した後、どうしていたかという事も話しました。とても懐かしかったです。老人ホームのスタッフがそれを聞き驚いて、再会の記しにと写真を撮つてくれました。私が今、ここに浄土宗の教師として存在するのは、彼女と他の教授との大きなかかわりがあつてこそだととも感謝しています。

子供たちは、ネイティティブ並みの発音や様々な状況にあつた表現がすぐにできるようになります。そして、授業の後は、日本のお菓子と麦茶を楽しみます。子供たちの親御さんは、

子供を対象とした活動では、阿弥陀寺で小さな寺子屋をして

3土曜日の10時から1時間、現

地の子供たちが阿弥陀寺に集

まり、日本語と文化を教えて

います。授業は、五十音「あいう

えお、かきく：わをん」を發音

することから始まります。そ

して色々な状況に使える表

現を勉強し、平仮名を書くことも

練習しています。その後、昔話

「うらしまだろう」など、絵本の

読み聞かせをします。また、サム

ライや忍者などの塗り絵も楽し

んでいます。



懐かしい大学時代の恩師との再会



子供を対象としたもう一つの活動は、学校へ訪問し、仏教を教えるということです。2007年、様々な僧侶と私が一体になって、公立学校で仏教を教えるカリキュラムが確立されました。公立学校では、週に一度、1時間、宗教の授業が設定されています。キリスト教の国であるオーストラリアでは、教会がこの時間をキリ

ました。しかし、私たちの努力が実り、今ではこの時間に仏教も教えることができるようになりました。仏教は、信者（ボランティア）が教えていますが、教師が教室へ行き教える機会もあります。私が訪問すると、生徒から多くの質問を受けます。一度「私は仏陀になれるでしょうか」という質問を受けたことがあります。私は、お念佛を唱えることで往生でき、そしてそこ



小学校の仏教授業



寺子屋



仏教を教えるボランティアたち



寺子屋の忘年会 2017



老人ホームに住んでいる人・元は神父

スト教を教えることに使つてきました。しかし、私たちの努力が実り、今ではこの時間に仏教も教えることができるようになりました。仏教は、信者（ボランティア）が教えていますが、教師が教室へ行き教える機会もあります。私が訪問すると、生徒から多くの質問を受けます。一度「私は仏陀になれるでしょうか」という質問を受けたことがあります。私は、お念佛を唱えることで往生でき、そしてそこ

から仏陀になれることを説明しました。それを知った彼女はとても喜んでいました。仏教を選択する生徒のほとんどは、親がタイ、ビルマ、スリランカなどの仏教国からの移民です。西洋国へ移民してきても、母国の仏教を学校で学べるというのは、とてもいいことだと思います。オーストラリア人でも、仏教を選択する生徒もあります。仏教は、オーストラリアで速い速度で成長しており、およそ400万人が信仰して

います。仏教はしっかりと根を張り、阿弥陀寺は重要な存在となっています。私は、学校へ訪問し仏教について話すことをとても楽しみにしています。高齢者や子供達と共に時間を過ごすことは、とてもやりがいがあります。阿弥陀様を受け入れているからでしょう。



2014年6月シャトーブルトイユ 別時念仏



大本山清淨華院法主 真野龍海台下、ロベール先生とともに



浄土宗ヨーロッパ佛教センター 創立10周年を迎えて

フランス開教地主事 高僧 光隆

2017年、浄土宗ヨーロッパ
佛教センターは創設10年を迎え
ました。

1980年代の半ば、私は縁
あってヨーロッパ、フランスに住む
ことになりました。住み始め、
一ヶ月も経たずして葬儀をお願
いしたいとの連絡を受けました。
その後も、毎年のようにパリ邦人
の方より葬儀や法要の依頼、
ご相談等を受けました。そして、
数年後のある日、フランス、欧州
には日本の伝統佛教団の寺院
はあるのか?派遣されている
僧侶はいるのか?との質問を
受けました。邦人社会は僧侶を
必要としていましたが、残念
ながら当時そのような邦人の
要望を引き受けるオープンな
施設はありませんでした。

10数年後、浄土宗のご協力を
いただき「浄土宗ヨーロッパ佛教
センター」を創設しました。20
08年6月、パリ市内のホテル
において創設披露佛教講話会を開催。その披露会に大学の恩師
である真野龍海台下(現大本山
清淨華院法主)がフランスにお
いで下さりご講話下さいました。
そして当センター立ち上げの

際に、ご相談をいたしました
ジャン・ノエル ロベール先生(現
コレッジード フランス教授 法華
経フランス語訳を出版 フランス
仏教学の第一人者)もご講演を
下さいました。真野台下とフラン
ス当センターには深い御恩と
沢山の思い出があります。その
会場にいらっしゃったお一人
が、講和後の祝賀会での席、
笑顔で「さあ、法の風が流れま
したよ」とおっしゃって下さい
ましたことを強く記憶してい
ます。

講話会には、その後、日本から
僧侶の方々もおいで下さるよ
うになり、ある時は、フランスの
歴史記念物に指定されている
パリ郊外にあるシャトーブルト
イユで別時念仏も行いました。
また、講話会の会場もいろいろ
なところを利用してきました。
ホテルのサロンの他、世界的に
有名なファッショントークン学校、パリ
エスモード校が数年にわたり素
晴らしい会議室、ホールを提供
下さいました。ありがたく感謝
しています。

2015年7月には当セン
ターの拠点であるアコン市で、
市長ご夫妻、自治委員会の方々、
そして地域住民の方々を招き、40度近い炎天下、メンバ
一同の協力で、披露会を開催

なりました。会場は通常、交通の
便、治安の良いパリ市内にある
ホテルのサロンで行っています。
日本佛教を、大きく歴史的転
換をした法然上人のみ教えを
紹介すると共に、お念佛行も始
めるようになり、後に念佛会も
行うようになりました。メンバー
一同ここ集中して行じて
います。

講話会には、その後、日本から
僧侶の方々もおいで下さるよ
うになり、ある時は、フランスの
歴史記念物に指定されている
パリ郊外にあるシャトーブルト
イユで別時念仏も行いました。
また、講話会の会場もいろいろ
なところを利用してきました。
ホテルのサロンの他、世界的に
有名なファッショントークン学校、パリ
エスモード校が数年にわたり素
晴らしい会議室、ホールを提供
下さいました。ありがたく感謝
しています。

いたしました。



2010年2月仏教の集い風景



2017年4月8日花まつり法要



2010年6月フランス家庭での法要

いたしました。また、パリ市内にパリ国際大学都市という区域があります。広い敷地内には当地への研究者、留学生に提供する宿舎や文化交流のため、多くの国々、財団が建てた40余りの建物があります。そこに日本館「メゾンデュ・ジャポン」もあり、2017年はそこをお借りし、10周年記念講話会を開きました。

講話は、ジユネーブ在住でローザンヌ大学の先生また僧侶でもあるジエローム・デュコール先生をお招きし、お話しをしていたときました。先生はフランスのテレビ番組の一つで、毎週日曜、仏教について話す番組にも出演されています。また選択集をフランス語に翻訳され出版されています。ご自身の経験談を交え、とても易しく、楽しく仏教をお話し下さいました。

「仏教の集い」では勉強会とともに仏教行事も徐々に増えてきました。

パリ、ブローニュの森に、ジャルダン・ダクリマタションという子供連れ家族のための公園があります。そこに、日本の長野

から運ばれてきた古い民家が設置されています。日本のおばあちゃんが寄贈された家です。メゾンドウ・キソと呼ばれます。そこで数年前よりお盆の行事を行うようになりました。

毎回メンバーの方々でお掃除をして、法要を行っています。種々の国籍の方が来場されます。そして、子供連れの公園ですので、多くの人たちが興味深そうに訪れます。今年は盆踊りの先生が来られ、法要の後に、皆で踊りました。

日本文化紹介です。

2年前より花祭りも同じ場所で始めました。家族連れて、子供が楽しそうにおしゃかさまに甘茶をかける光景は、とても和やかな風景です。メンバー一同のご協力の賜物です。

また、フランスの方より仏教での結婚式の要望を受け、執り行つたことが2度あります。

浄土宗、多くの皆様のご理解とご支援をいただき10年を迎えましたこと、心より感謝、御礼を申し上げます。

また、佐々木陽明前南米開教区開教総監がパリにお越し下さいましたこと、心より感謝、御礼を申し上げます。

当センターはフランス文化スタイルと日本文化・仏教とのフュージョン(融合)をもつて成長をしています。そして、フランス邦人社会より大きな信用をいた

だくようになっています。少なからぬフランス在住の邦人の方々に、私どもの活動を知つていただきました。

フランスのみならずヨーロッパの国々には、多くの邦人の方が住まわれています。また、世界が大きな関心をもつて日本文化を知るようになり、日本を訪れる観光客もとても多くなってきました。世界はグローバル化して世界各国の人たちの交流機会が増大しています。

仏教、日本の心を、フランス、ヨーロッパに紹介すべくメンバー一同と共に努めたく思っています。

浄土宗ハワイ開教区 開教総監就任のご挨拶

ハワイ開教区開教総監 楠柴 裕文

浄土門主 伊藤唯眞猊下(右)よりお言葉を賜る

まずはじめに「開教」の読者の皆様に心からのアロハを送るとともに、日頃の御支援に感謝の意を表したいと思います。昨年の9月15、16日の二日間にわたって行われました、浄土宗ハワイ開教区教区大会において、総監に選出されました楠柴と申します。御存知の方もいらっしゃると思いますが、私は1999年から2003年の4年間にわたり、総監職を務めさせていただきました。その後は体調を崩したこともあり、総監職を退き、14年間ハワイ開教区の開教使会会長や、別院主管として中村、原両総監の後方支援に徹してまいりましたが、この度再び総監を仰せつかることとなりました。

さて、松尾諦定、岡部学応両師によつて、ここハワイの地で開教が始まつて以来、本年でまる124年となります。両師に続いた先駆の開教使達は、ハイで浄土宗の教えを広めるべく、大きな努力をして来ました。また、日系移民を中心とする檀信徒の方々もしっかりとお寺の護持に努めてまいりました。第二次世界大戦という、暗く

厳しい時代を切り抜け、ハワイの開教区寺院は、ハワイの人々に心の安らぎを与えるとともに、お互いの安全の確認と情報交換の場を提供してまいりました。私たちは、これからもこのようないうことを心に留めながら、勇気をもつて新しい時代の開教に取り組んで行かなければなりません。

今、ハワイの開教寺院は様々あるように、大切なのはそれらの問題にどう対応するかです。しながら、多くの問題がそうであるが、この度再び総監を仰せつかることとなりました。

私がより深刻なものとなつてしまふか、逆に明日へのステップとなるかが決まつてくるのではないかでしょうか。ハワイでは、寺院活動の活性化と檀信徒数の増加というのが当面の課題ですが、どのような問題に直面しようとも、冷静で、着実に、そして慎重かつ勇敢に前に進んで行くことが大切だと考えています。

もちろんこれから先も、大変



認証式にて浄土門主
伊藤唯眞猊下より認証書を拝授

な困難に直面することもあるでしょうが、良いことも沢山あるのではないかでしょうか。私たちほどどんな場面に遭遇しないとも、弥陀様の御加護を感じ、力を合わせて助け合いながら、一人一人の役割を果たして行くことによって、どんな困難をも乗り越え、ハワイ開教区の新しい希望にあふれた未来が開けて来ると信じています。そのためには、安らぎと調和の中での情報の共有とお互いの協力が必要不可欠です。

私は今、ハワイ開教区の総監に再び選出されましたことを光榮に思うと同時に、その責任の重さを痛感しております。どうぞ今後とも皆様のご支援、ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。合掌。

第8回 開教公開カンファレンス

平成29年11月28日(火)13:00~16:00 大本山増上寺慈雲閣

元浄土宗国内開教使 浄土宗開教振興協会理事 笠原 泰淳
東京教区林海庵住職

国内開教を公開カンファレンスのテーマとするのは今回で二回目である。

前回は浄土宗の(元)国内開教使三師をお迎えし、その取り組みやご苦労などを発表して頂いた。今回は国内開教に取り組む他宗の(元)開教師、日蓮宗一妙寺(東京都国立市)の赤澤貞楨師をお招きして、私(笠原)との対談形式で進めさせて頂いた。

赤澤師は現在36歳。日蓮宗国内開教師(浄土宗では開教「使」という呼称だが、日蓮宗では開教「師」)の一號であら

れる。在宅出身ながら中学生のときに日蓮宗僧侶になろうと決心し、全寮制の身延山高校へ、さらに立正大学へと進めた。のち都内の寺院に勤務されたおり、檀信徒の率直な声を耳にする中で、寺院の立場と檀信徒の気持ちとの間に大きな温度差を感じたという。この温度差を何とか埋めてゆきたい、と願う折から、日蓮宗に国内開教の制度ができると聞き、早速開教師に応募された。

初めは「開教の王道を行こう」ということで、日蓮上人にならい辻説法から始められた。だが駅前に立つても誰も振り向いてくれない。「早々に挫折した」という。やがて師を応援するご寺院からの依頼を受け、一座の法話をを行う機会に恵まれた。本堂に集まつた檀信徒は熱心に耳を傾けてくれ、拍手まで起こつた。「自分の居場所はここだ」と強く実感された。それからは、当初の「布教活動の中からご縁が生まれ、やがて法務につながる」という方法論を転換し、

まず法務を増やすことに専念された。法務のご縁の中から、熱心に耳を傾けてくれる檀信徒が出てくる。

師の努力は「プラスをかせぐよりも、マイナスを減らす」とのこと。

一般社会では常識的なことであっても、寺社会ではまだまだ遅れていることがある。檀信徒にはよく分からぬ。法要も、何をやっているのかというわけで、マイナスを減らす努力を続けていた。最後に、

わかりやすい法要の例として、口語による引導作法を実演して頂いた。臨場感あふれる語りかけは圧巻であった。



会場全体



対談する赤澤上人(右)と私(笠原)



口語による引導作法の実演(赤澤上人)

今回の私のねらいは、赤澤師との対話を通じて「開教の現場のスリリングな空気をお伝えしたい」ということだった。ちょうど赤澤師が林海庵に来寺されたときに、客間で対話するのと同じような最前线の雰囲気がカンファレンスの場でも出せれば、というのが目標だった。それを是非、ご参加の皆さんに感じて頂きたい——そのねらいはある程度実現できたのではないかと思う。

国内 開教通信

茨城県小美玉市－清淨院－

国内開教使 清淨院住職
堤 忠春

定期的に行なわれている詠唱勉強会の様子 ※90歳をこえる方も熱心に学んでおります



国内開教使を志した動機

誰にも心あたりがあると思います。自分というものが形成されてゆくころに「自分とは何だろうか」「自分の生き方は正しいのか」等、思い耽る時期があつたかと思います。今になつて考えれば、私の場合その時間が人より長かったのだと思います。

A portrait of a man with short, dark hair, wearing a dark kimono over a white collar. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

堤忠春師

道場を満行するころには、お坊さんとして必要な素養が驚くほどに身につきました。しかし、私はお寺出身ではありませんから主として歩める場所がありませんでした。

現在の活動状況

国内開教寺院は地域とどう
ように関わってゆくべきか!?
方向性が重要なカギになります。
す。清浄院の場合、一般寺院の
ようには行きませんから、法事
だけではなく、心のケアができる
る場所として、お寺での相談
援助等が出来るようになると取り
組んでいます。

また、詠唱の普及にも力を入れております。私は淨山道場時代に、当時の詠唱教導司の故鶴田定伸先生に師事しました。師から教司を目指し後進の指導をとお言葉を頂き、後に様々な先生方からのご指導を

なつたのが、元国内開教使、林海庵住職笠原泰淳先生の存在です。

所（現・浄土宗宗務庁）へ訪問しました。出迎えてくれたのは、当時担当者の橋下さんです。明るく熱心に話をしてくれた記憶があります。とても良い話でしたが、何もない状況ではお寺は建てられない：ただ、この地域はお寺が少なく、法事を求めている声も聞いていたので、何とかならないかと感じてはおりました。

と申しましても一番のやりがいです。私もこの道を歩んできて本当に良かったと思つております」と、正直、私も不安はありました、が、笠原先生のそのお言葉に、僧侶としての使命感を強く感じ、これまでのご縁や経験を生かし、開教使として人さまの宗教心を支えたいと思つたのです。

賜り、一級詠唱教司になることができました。師達から学んだ事が今まさに生かされはじめようとしています。

また、清浄院は檀家ゼロからスタートなので、多くの人に知つてもらわなければなりません。時間があるときには、「お寺が出来ました」とごあいさつしています。

将来の展望



お念仏と小法話の会



滋賀県の古刹寺院からお迎えした『清浄院』のご本尊

茨城は海外開教使としての先駆者でもある淑徳大学創設者、長谷川良信先生出生の地でもあります。良信先生はセツルメント事業といって当時、日本の荒れ果てたスラム街に「マハヤナ学園」という孤児院・児童養護施設を開設されました。

貧困に苦しむ子ども達を救い、女性に学問を教えました。良信先生は沢山の人々を救つていったのです。

私は仏教の他に心理学と社会福祉学を学びました。両者と共に通して言える事は、生身の人間

の役に立つ学問ということです。福祉用語には「受容」や「アウトリーチ」という言葉があり、「受け入れて取り込む」「手をさしのべる」という意味があります。あれ⁈これって!!そうです。仏教です。おそらく心理学や社会福祉学は宗教から来ているものではないかと考えられます。

いつの時代においても人間の悩み、苦しみは変わらないという事です。同時にその問題を解決しようとすると考へ方が必ず生まれるわけです。

宗教心をささえる事は、見えないものを信じる事と同様に、

人間の心のあり方を知ろうとする事、己を知ることで、苦しみや執着から少しでも解放されて行こうという宗教的な問いかけに繋がる事だと思っています。

また、偉大な先達のようには行きませんが、清浄院に来て良かったと言つてもらえるような居場所にしてゆけたらと考えております。

最後に、法然上人は『予が遺跡は、諸州に遍満すべし』と仰っております。清浄院は出来たての

小さいお寺ですが、ここも遺跡地なのです。法然上人のそのお言葉をありがたく受け止め、お念仏の声がいつまでも絶えることのない場所にしてゆきたいです。



福祉施設での巣立ちの会（お別れ会）



国内開教通信

沖縄県豊見城市－聖蓮寺－

国内開教使 聖蓮寺住職
大和田 聖二

師僧寺院にて法話



大和田 聖二師

皆さんの沖縄のイメージはなんでしょう？「青い空に青い海。トロピカルフルーツやステーキ、そして人懐っこい県民性…。」という声が聞こえてきそうです。確かに美味しいものは多く、油断すると一キロ増え、二キロ増え、気づけば大変な事になつてしまします。私も大変な事になつていた一人で、目下ダイエット中なのです…。

そんな魅惑的な島で、この度は開教使として任命していただきました。

なぜ仏門だったのか

私は元々、茨城の片田舎の在出身です。厳格な祖父がおりました。お仏壇を大事にし、朝一番のお茶をお仏壇に出すのは私の役割。小さいながらにも、お仏壇

に一番茶をお供えし、手を合わせる時には背筋がシャンとした事を思い出します。

しかし、私は病気がちで身体の弱い子でした。二十歳まで生きられないと医者に言われ、半ばやけくそでスポーツに打ち込む日々。すると、みると病気は影をひそめ、気が付くと沖縄で3Kと呼ばれているマリンスポーツの仕事についていたのです。寝る暇もなく、日の出前から深夜0時過ぎまでボロ雑巾のようになるまで働きどおし。

それでも、周りの友人や観光で沖縄を訪れる人との出会いでたくさんの元気を貰い「天職だ」と、楽しく過ごしていたのです。そんな中、運命的な出会いを果たします。

妻との出会いです。彼女の父親が浄土宗寺院の僧侶でした。残念ながら私は彼女の父には会えていません。出会った時はすでにご住職は遷化されていたのです…。

その後、マリンでの複雑な人間関係や、この仕事をしているが故に発症してしまった身体的事情で、とてもとても悩んだ時期

がありました。その時、妻が日常勤行を教えてくれたのです。お経の内容はちんぶんかんぶんでしたが、正座し読經しているのを今でも覚えています。

そして、その時見上げた阿弥陀様の鋭い目元にハッとした。何も語ってはくれないが、その優しくも鋭い眼光が、行くべき道を示してくれている、救われているという気がしたのです。

そこからは、一目散に師僧の元を訪れ「少しでも人の役にたてるような人間になりたい。弟子にして下さい」とお願いをしたのです。仏教の世界は厳しいと聞いてましたが、師僧はそれこそ手取り足取り色々な事を教えてくれました。

今の私があるのも、あの時の阿弥陀様と師僧、私を取り巻く周囲の皆のおかげだと切に感じております。

沖縄事情

私は茨城の出身ですから、沖縄の儀礼礼節の知識などほぼ

「皆無」であります。冒頭で「沖縄のイメージ」を聞きましたが、沖縄の方はとても礼儀正しく親切です。一方でとても保守的であるようにも感じます。しかしそれこそが「琉球の精神」なのだと、何者にも侵略されない、させない県民としてのプライドなのだなどと、私は考えます。

「祖先信仰」「自然物信仰」

これは、今でも信仰されている様々な神を祀る沖縄県民の信仰深い精神をさまざまとあらわしているでしょう。たとえば「火の神」(ヒヌカン)。

朝起きてご祖先の眠るお仏壇と共に手を合わせます。100家庭あれば、90家庭はヒヌカンを祀っているように感じます。幼少期から母の姿を見て、子の代、孫の代へ自然と受け継がれています。

日本本土に八百万の神がおられるように、沖縄は、狭い土地の中にたくさんのお神様がいらっしゃいます。各家庭で祀られている神、自然の中におられる神々、そしてご先祖様。沖縄で一番多い信仰対象は「ご先祖様」なのです。祖先崇拜の島ですので、もちろん檀家制などあります。葬儀にA和尚を呼んでも、馬が合わなければ初七日には宗派の異なるB和尚に読経をお願いしたりします。沖縄ではこれが当たり前の光景です。

将来の展望

開教地に選んだ豊見城市豊崎は、埋立開発により誕生した新しい街です。県が総力を入れ、空港や高速道路のアクセスの利便性を売りに開発し、今では沖縄県民が住みたい地域の上位

に位置づけされ注目を浴びるほどです。

そんな元気のある街で、夕日を見ながら御先祖様に感謝する夕日の集いや、様々な行事を行い、今までの歴史あるイメージのお寺ではなく、今のニーズに合わせた楽しいお寺づくりをすることがこの街には合っています。

今後は、水中に慰霊碑を設置し、戦没者の水中慰霊祭を行ったり、事故で亡くなつた動物たちの供養会、稚児行列などを行つてゆきたいと考えます。

最後に

仏門に入り、最近切に思う事があります。

私が始め、ご縁があつて出会いってきた人達にはその人達の人生があり、たくさんの人と関わりあつて人生が形成されています。楽しい事や辛い事も人生の一部です。今の私があるのも、大勢の人々と出会いと別れをしてきたからであります。

人生出会いと別れ。今日もどこかで出会いと別れが繰り広げられ、それぞれが喜んだり悲しんだりしているでしょう。どんな場合でも、誰かのおかげで今の自分がある。今の自分があるから未来の誰かに繋がってゆく。他者との関わりが薄弱な現代。「おかげさま」の心根を伝えることを今後の布教の軸とし勤めてゆきます。



豊崎美らSUNビーチ

各開教区開教使名簿

平成29年12月31日現在

開教区

	氏名	赴任寺院
ハワイ	開教総監 榎柴 裕文	ハワイ浄土宗別院
	開教使 原 源照	ラハイナ浄土院
	ワジラワンサ舜爾	ハマクア浄土院・ハヴィ浄土院・コハラ浄土院
	江崎 晃司	ハレイワ浄土院
	石川 広宣	コロア浄土院・カパア浄土院
	宮寄 潤心	ヒロ明照院・カーチスタウン浄土院・ハカラウ浄土院
	原 潮音	ワイルク浄土院・カフルイ浄土院
	中野 寛淳	ハワイ浄土宗別院
北米	開教総監 後根 定璽	北米開教本院・シカゴ浄土宗教会所
	開教使 田中 孝道	北米開教本院
南米	開教総監 佐々木良法	南米浄土宗別院日伯寺・マリンガ日伯寺
	開教使 佐々木陽明	南米浄土宗別院日伯寺
	稻場 明忠	南米浄土宗別院日伯寺
	根石 啓史	南米浄土宗別院日伯寺
	櫻井 聰祐	イビウーナ日伯寺
	大江田晃義	クリチバ日伯寺

海外開教地

氏名	指定地域
James Wilson 哲雄	オーストラリア・ブリスベン
高僧 光隆	フランス・パリ

国内開教指定寺院

住職名	寺院名	所在地
吉川 輝昌	輝照寺	千葉県習志野市
堤 忠春	清淨院	茨城県小美玉市
大和田聖二	聖蓮寺	沖縄県豊見城市

埼玉 茨城 栃木 群馬 福島

瑞俊和長良憲悟真道
隆信清康德裕俊道
嘉辰正道良弘清芳一行
祐寬靈道現秀博道
孝順康靖幸信良浩孝佳
明英達雄真隆幸憲
正道良弘善生真靜
勝道和芳成正達祐
一造冬彥良仁了祐
道寬清規了順
清行和芳了祐
昭彥

東京

豐島	長安寺	善光寺	法藏院	功德林寺	新谷	岡本	川名
江東	圓覺寺	淨心寺	長安寺	仲台寺	關野	清水	石川
淺草	法華寺	法華寺	圓覺寺	松林院	本誓寺	古宇田	佐藤
北部	北山寺	北山寺	法華寺	西城寺	大雲寺	西城寺	福田
城北	法華寺	法華寺	法華寺	神田寺	法然寺	神田寺	新谷
玉川	法華寺	法華寺	法華寺	龍寶寺	法林寺	法林寺	岡本
八王子	法華寺	法華寺	法華寺	樞寺	長壽院	長壽院	佐藤
圓德寺	法華寺	法華寺	法華寺	源空寺	正定寺	清光寺	教務所直轄
普濟院	法華寺	法華寺	法華寺	靜蓮寺	得生院	源空寺	新谷
音寺	法華寺	法華寺	法華寺	原善寺	原善寺	原善寺	八王子
林海庵	法華寺	法華寺	法華寺	瑞泉寺	善德寺	正定寺	玉川
不顯院	法華寺	法華寺	法華寺	貞源寺	貞源寺	清光寺	北川
慶岸寺	法華寺	法華寺	法華寺	善光寺	淨正寺	樞寺	日比野
光照寺	法華寺	法華寺	法華寺	淨心寺	保元寺	龍寶寺	大谷
淨眞寺	法華寺	法華寺	法華寺	瑞泉寺	淨正寺	法林寺	友松
不斷院	法華寺	法華寺	法華寺	貞源寺	淨正寺	長壽院	窪川
蟠龍寺	法華寺	法華寺	法華寺	善光寺	保元寺	正定寺	古宇田
香念寺	法華寺	法華寺	法華寺	淨心寺	淨正寺	得生院	西城寺
法華寺	法華寺	法華寺	法華寺	入西	入西	原善寺	神田寺
正安寺	法華寺	法華寺	法華寺	榎本	榎本	原善寺	龍寶寺
法隨院	法華寺	法華寺	法華寺	見	見	原善寺	樞寺
西門院	法華寺	法華寺	法華寺	一瀬	一瀬	原善寺	長壽院
壽永寺	法華寺	法華寺	法華寺	多賀谷	多賀谷	原善寺	日比野
滿正寺	法華寺	法華寺	法華寺	高田	高田	原善寺	北川
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	澤	澤	原善寺	日比野
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	藤木	藤木	原善寺	北川
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	雄	雄	原善寺	日比野
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	裕	裕	原善寺	北川
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	哲	哲	原善寺	日比野
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	雅	雅	原善寺	北川
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	豊	豊	原善寺	日比野
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	勝	勝	原善寺	北川
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	勝	勝	原善寺	日比野
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	善	善	原善寺	北川
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	主	主	原善寺	日比野
淨正寺	法華寺	法華寺	法華寺	觀	觀	原善寺	北川

長野 富山 新潟 山梨 千葉 神奈川

三池	江口	十野	法夫
伊藤	小林	小林	隆定
麻績	伊藤	伊藤	覺道
佐々木	川口	川口	法人
麻績	松	松	覺道
佐々木	吉川	吉川	慶成
麻績	河井	河井	廣宣
佐々木	水田	水田	憲之
麻績	田中	田中	彥彥
佐々木	柳橋	柳橋	到覺
麻績	坂野	坂野	賢明
佐々木	野瀬	野瀬	隆昌
麻績	里見	里見	英司
佐々木	日向	日向	到覺
麻績	佐藤	佐藤	到覺
佐々木	馬相	馬相	到覺
麻績	北郡	北郡	俊雄
佐々木	藤井	藤井	瑞浩
麻績	入込	入込	嘉壽
佐々木	川口	川口	泰巨
麻績	常弌	常弌	忠央
佐々木	岸	岸	孝雄
麻績	豊岡	豊岡	宣正
佐々木	野瀬	野瀬	洋之
麻績	新川	新川	義晴
佐々木	行長	行長	融光
麻績	川口	川口	賢雄
佐々木	谷川	谷川	勝彦
麻績	梅原	梅原	明雄
佐々木	敷島	敷島	隆善
麻績	行川	行川	滿祐
佐々木	秋葉	秋葉	秀雄
麻績	宗亮	宗亮	弘賢
佐々木	正宏	正宏	聖彥
麻績	享則	享則	法信
佐々木	千冬	千冬	國彦

更埴

西方寺	十念寺	淨願坊
	西光寺	德行坊
	觀音寺	隨行坊
	蓮心寺	
	佛導寺	
	円通院	
	往生寺	
	寬慶寺	
	西光寺	
	觀音寺	
	延命庵	
	靜松寺	
	靜松寺	
	大澤寺	
	長谷寺	
	法學寺	
	宝樹院	
	善導寺	
	正滿寺	
	正滿寺	
	淨運寺	
	西福寺	
	正源寺	
	三福寺	
	普光寺	
	三宝寺	
	阿弥陀寺	
	善導寺	
	安養寺	
	長德寺	
	善法寺	
	榮昌寺	
	當然寺	
	丹生寺	
	香福寺	
	法藏寺	
	常行寺	
	無常院	
天用寺		

金子	袖山	竹澤	中嶋	根井	新出	若麻績
櫻井	袖山	水野	丸山	古田	水野	若麻績
小柳	小林	水野	丸山	吉水	水野	若麻績
笠井	和田	竹内	古田	水元	水野	若麻績
三次	栗田	阿部	古田	吉水	水野	若麻績
横山	伊東	和田	和田	水元	水野	若麻績
田口	高橋	宮林	和田	吉水	水野	若麻績
藤田	山野井	宮林	和田	水元	水野	若麻績

裕賢	正並	主隆	壽光	雅裕	順雄	智順	英親	信昭
隆信	高德	秀彥	耕真	純蕙	榮輝	順雄	光祐	敬史
		靖順	正樹	英見	俊雄	定見	英滋	悅史
		基晴	果琇	榮真	俊雄	慶隆		
		裕彰	淳一	英見	俊雄			

三河

静岡

伊勢
伊賀

尾張

甲賀

野洲

大津

湖南

往生寺
淨善寺
帰命寺
誓安寺
東方寺
縁心寺
正往寺
正念寺
清光寺
大光寺
大行寺
西方寺
信行寺
大恩寺
專稱寺
檀主法林寺
善導寺
圓通寺
帰白院
龍泉院
良樹院
上善寺
光明寺
慈福寺
西園寺
正定院
常林寺
長德寺
光福寺
善導院
琢窓院
寿仙院
隆林院
養源院
禪法寺
福藏寺
清賢院
顯岑院
金光院
瑞泉院
龍光院
照臨院
靜林寺
福藏院
西福寺

伴 篠原 伴 伴 伴 伴
加藤 中西 本多 松本
南 本田 本田 成木
本多 田 勤息
朽木 信久
佐々木 小川 江藤 岡 福原 木村 大野 宮口 伊藤 青山 平 中山 井上 城戸 本庄 上野 渡邊 大塚 齋藤 入江 大矢

京極

地藏院	阿弥陀寺	心光院
隆彥院	三縁寺	淨念寺
	高樹院	長源寺
	本光院	信養院
	大超寺	大超寺
	勢至院	來迎院
	淨源院	常光院
	光安寺	城安寺
	西昌寺	大蓮寺
	稱名寺	大念寺
	光德寺	生蓮寺
	正覺寺	天性寺
	春長寺	透玄寺
	淨教寺	聖光寺
	永養寺	勝円寺
	淨因寺	空也寺
	本覺寺	水養寺
	新善光寺	淨淨寺
九品寺	念佛寺	喜運寺
	洞雲寺	淨雲寺
	正林寺	稱名寺

釋	藤村	池原	大河内
梅	勝田	穴戸	豊原
辻	大津	杉山	土肥
	富田	堀池	
	竹本	芳井	
	佐伯	梅木	
	鈴木	竹村	
	梶田	塩竈	
	岡見	小林	當麻
	三縁	後藤	當麻
	土方	小林	青木
	石井	塩竈	志水
	當麻	梶村	佐藤
	志水	本部	廣兼
	佐藤	田中	二宮
	吉澤		
	佐藤		

大官

伏見

昭彥	泰宏	康憲	良賢	好規
俊明	承爾	正樹	良祐	正信
雅清	昌邑	和教	芳誠	隆道
早蔵	裕人	秀善	孝善	憲宏
稔弘	信昭	直樹	幹也	現弘
正樹	要津	尚楓	幸治	廣隆
正樹	隆二	歛學	浩之	融典
正樹	要津	成忍	史郎	宣靜
正樹	要津	良治	正示	智則
正樹	要津	尊	了孝	

宇治

洛南

寺川	佐藤	吉水	正木	光成	五島	宮田	光成
					小坂井	山村	藤原
					馬淵	岩井	森
					山口	山中	山中
					菱田	山中	山中
					作見	山中	山中
					高木	山中	山中
					菱田	山中	山中
					水谷	水谷	水谷
					安藤	安藤	安藤
					長谷川	長谷川	長谷川
					堀野	横井	堀野
					本多	本多	本多
					南館	南館	南館
					平	平	平
					三輪	三輪	三輪
					松尾	松尾	松尾
					水谷	水谷	水谷
					大林	大林	大林
					河合	河合	河合
					佐藤	佐藤	佐藤
					八幡	八幡	八幡
					高田	高田	高田
					德山	德山	德山
					吉水	吉水	吉水

相樂

龟
固

嵯峨

阿弥陀寺	長光寺
三縁寺	安養寺
弘願寺	地藏院
念佛寺	觀音寺
長光寺	寶福寺
西福寺	深廣寺
正覺寺	淨光寺
龍福寺	大龍寺
西生寺	極樂寺
安樂寺	淨土寺
福泉寺	袋中菴
導故院	導行寺
往生院	善福寺
慰稱寺	爲因寺
長泉寺	福泉寺
西光庵	西光寺
無量寺	無量寺
正定院	德林寺
阿弥陀寺	法然寺
藥師寺	念佛寺
称念寺	円覺寺
念佛寺	直指庵
小松寺	淨福寺
淨福寺	極樂寺
西光寺	西光寺

昌彦	秀範	芳隆	清志	史彥
昌信	秀範	裕也	裕也	芳浩
昌泰	秀範	善應	善應	信祐
昌泰	秀範	博雄	博雄	信祐
昌泰	秀範	靖高	靖高	信祐
昌泰	秀範	實道	實道	信祐
昌泰	秀範	將之	將之	信祐
昌泰	秀範	信哉	信哉	信祐
昌泰	秀範	普天	普天	信祐
昌泰	秀範	一応	一応	信祐
昌泰	秀範	泰寿	泰寿	信祐
昌泰	秀範	裕康	裕康	信祐
昌泰	秀範	昌夫	昌夫	信祐
昌泰	秀範	泰明	泰明	信祐
昌泰	秀範	静夫	静夫	信祐
昌泰	秀範	良治	良治	信祐
昌泰	秀範	正俊	正俊	信祐
昌泰	秀範	宏則	宏則	信祐
昌泰	秀範	正信	正信	信祐
昌泰	秀範	秀應	秀應	信祐
昌泰	秀範	英唱	英唱	信祐
昌泰	秀範	圓純	圓純	信祐
昌泰	秀範	稱圓	稱圓	信祐
昌泰	秀範	雄俊	雄俊	信祐
昌泰	秀範	良紋	良紋	信祐
昌泰	秀範	幸次	幸次	信祐

和歌山

奈良

相日有第一

船桑丹後

大圓寺	專念寺	晴明寺	常福寺	光明寺	大澤寺	奧田
念佛寺						横田
常福寺						北元
大恩寺						真田
長安寺						和田
教傳寺						奥田
願生寺						小泉
天然寺						小泉
淨土寺						小泉
聖德寺						小泉
榮照院						小泉
松林寺						小泉
天然寺						小泉
淨仙寺						小泉
安樂寺						小泉
安樂寺						小泉
西光寺						嵐
寶嚴寺						嵐
常立寺						嵐
本願寺						嵐
極樂寺						嵐
念佛寺						嵐
極樂寺						嵐
常谷寺						嵐
阿日寺						嵐
極樂寺						嵐
三宅						嵐
野島						嵐
細川						嵐
大橋						嵐
森本						嵐
羽瀨						嵐
小野						嵐
柴山						嵐
紀氏						嵐
萬壽寺						嵐
法善寺						嵐
吉祥寺						嵐
源正寺						嵐
法善寺						嵐
西蓮院						嵐
見性寺						嵐
極樂寺						嵐
安樂寺						嵐
寶樹寺						嵐
壽法寺						嵐
願生寺						嵐
大圓寺						嵐
上田						嵐
川村						嵐
飯田						嵐
中谷						嵐
齊藤						嵐
家田						嵐
中村						嵐
野田						嵐
大河内						嵐
井桁						嵐
片山						嵐

亮我光信
康道真宜
顯雄大信
頤雄昭性
頤祐良生
顯祐良生
忠夫忠義
法俊正道
賢祐正道
明生正道
照莘正道
貞良正道
泰淳正道
暢時正道
良寬正道
順雅正道
義樹正道
真宏正道
隆紹正道
善之正道
見宥正道
良廣正道
雄弘正道
雅勝正道

東撰

天滿

東清園

淨光寺	西照寺	光明寺	金臺寺	大蓮寺	長岡
幸念寺	西園寺	銀山寺	銀山寺	西園寺	秋田
正木	柴田	相原	相原	津留	
末高寺	末高寺	高畠	高畠	高畠	
誓福寺	誓安寺	源光寺	源光寺	源光寺	
安達	安達	金澤	金澤	金澤	
横瀬	横瀬	秋田	秋田	秋田	
龟井	龟井	江崎	江崎	江崎	
日比	日比	江崎	江崎	江崎	
得田	得田	江崎	江崎	江崎	
萱野	萱野	江崎	江崎	江崎	
香川	香川	江崎	江崎	江崎	
山中	山中	江崎	江崎	江崎	
萱野	萱野	江崎	江崎	江崎	
香山	香山	江崎	江崎	江崎	
岩崎	岩崎	江崎	江崎	江崎	
本	本	江崎	江崎	江崎	
辻	辻	江崎	江崎	江崎	
川久保	川久保	江崎	江崎	江崎	
増山	増山	江崎	江崎	江崎	
服部	服部	江崎	江崎	江崎	
池上	池上	江崎	江崎	江崎	
奥村	奥村	江崎	江崎	江崎	
松田	松田	江崎	江崎	江崎	
太田	太田	江崎	江崎	江崎	
豊川	豊川	江崎	江崎	江崎	
藤野	藤野	江崎	江崎	江崎	
小林	小林	江崎	江崎	江崎	
谷田	谷田	江崎	江崎	江崎	
松田	松田	江崎	江崎	江崎	
西福寺	西福寺	江崎	江崎	江崎	
妙香院	妙香院	江崎	江崎	江崎	
善導寺	善導寺	江崎	江崎	江崎	
大信寺	大信寺	江崎	江崎	江崎	
奧之坊	奧之坊	江崎	江崎	江崎	
長德寺	長德寺	江崎	江崎	江崎	
冷雲院	冷雲院	江崎	江崎	江崎	
蟠龍寺	蟠龍寺	江崎	江崎	江崎	
提法寺	提法寺	江崎	江崎	江崎	
壽光院	壽光院	江崎	江崎	江崎	
西念寺	西念寺	江崎	江崎	江崎	
專修寺	專修寺	江崎	江崎	江崎	
杉山	杉山	江崎	江崎	江崎	

義官光祿正孝順慈真尚真謹隆支泰中光啟俊英隆雄光哉利治博司哲也裕昭克實清彥善浩孝史章裕忠之周易順造博嗣善成正敬光司寬雄可一忠和立德法信泰伸周道俊定

泉北

十一

第一回

河北

北攝

西王寺 清蓮寺 兴樂寺 乘雲寺 常福寺
法住寺 净福寺 興樂寺 乘雲寺 常福寺
長樂寺 考淨寺 法藏寺 朝日寺 安樂寺
西觀音寺 法藏寺 慧光院 朝日寺 安樂寺
泉涌寺 法藏寺 淨土院 慧光院 朝日寺
臺鏡寺 一乘寺 淨蓮寺 觀音寺 正念寺
淨土院 慧光院 淨土院 觀音寺 正覺寺
稱念寺 釋尊寺 明遍寺 長福寺 西蓮寺
觀音寺 釋尊寺 長福寺 西蓮寺 福成寺
正念寺 釋尊寺 西蓮寺 福成寺 宗泉寺
正覺寺 釋尊寺 長福寺 福成寺 常安寺
觀音寺 釋尊寺 西蓮寺 宗見寺 浄光寺
正念寺 釋尊寺 西蓮寺 專稱寺 大心寺
正覺寺 釋尊寺 西蓮寺 光月院 常安寺
觀音寺 釋尊寺 西蓮寺 大王寺 常然寺
正念寺 釋尊寺 西蓮寺 法藏寺

嶋村足立川久田中渡辺西田磯部秦小林山下富永寺村北真田西浦文庫円通横井一法井上岡田小原小倉山田近藤松本眞野赤木富澤中坂下野口武田河合丹農田村佐藤里見釜親沖永

元明順功知磨道章一光海姐俊昭雅逐博文稔和靈瑞穎有農良隆光亥琢也道哉榮達勝紀義實真證孝雄恭司法淳正淮雅文光範泰莎良順昭順春道時久玄雄健雄耕道雅裕秀知達祐達秀文達梵法雄康順隆善

武崎

三

神戸

專稱寺
觀音寺
心福寺
光明寺
正覺寺
西方寺
念佛寺
阿弥陀寺
西福寺
長樂寺
安養寺
淨福寺
法然寺
淨泉寺
善性寺
法福寺
東極樂寺
淨福寺
願成寺
淨泉寺
長傳寺
極樂寺
寶地院
東福寺
中勝寺
法泉寺
光明寺
阿彌陀寺
專念寺
常樂寺
法園寺
甘露寺
寶樹院
光明寺
東光寺
願生寺
極樂寺
等覺寺
西安寺

佐藤　西田　横井　大橋　梨原　福原　古野
佐藤　太田　横井　阪口　西田　佐藤　野口
佐藤　上續　前田　濱田　中川　中川　小林
佐藤　谷口　濱田　浅野　小野　佐藤　信館
安部　藤井　前田　前田　中川　市野　市野
古本　静永　谷口　谷口　小栗　小栗　古本
輔老　藤井　藤井　藤井　武田　武田　輔老
田原　浦上　浦上　浦上　貴田　貴田　田原
菅原　平井　平井　平井　三枝樹　三枝樹　菅原
高橋　小島　小島　小島　螺澤　螺澤　高橋
小川　松永　松永　松永　諸戸　諸戸　小川
田原　田原　田原　田原　佐藤　佐藤　田原

心岳	隆彥	寿秀	泰宣
大護	章弘	孝道	正昭
徹真	良文	三良	俊昭
隆祐	良典	信雅	貴光
博隆	恭眞	俊道	祐彥
亘輝	祐信	成章	元光
隆善	大俊	雄晋	英州
泰淳	峯雄	郁夫	正曉
康源	大俊	常雄	聖瑞
肇滋	善昭	孝之	雄威
一完	賢亮	正運	信雅
峯雄	良典	賢時	俊道
大俊	恭眞	正興	貴光
博隆	祐信	正業	祐彥
亘輝	大俊	隆啓	元光
隆善	峯雄	孝之	英州
泰淳	大俊	正運	正昭
康源	善昭	賢時	俊昭
肇滋	賢亮	正興	聖瑞
一完	良典	常雄	信雅
峯雄	恭眞	孝之	俊道
大俊	祐信	正運	貴光
博隆	亘輝	賢時	祐彥
亘輝	隆善	正興	元光

鳥取

伊丹 摂陽東 有馬 明石 丹波 因幡 伯耆

法安寺
圓福寺
西方寺
農乘寺
觀音寺
光明寺
安樂寺
西光寺
真涼寺
法嚴寺
光明寺
正覺寺
來迎寺
阿弥陀寺
大蓮寺
正善寺
觀音寺
西光寺
西明寺
觀音寺
菩提寺
杜若寺
法泉寺
法仙寺
正念寺
大林寺
松林寺
大蓮寺
西方寺
法光寺
普善寺
光明寺
圓照寺
遍照寺
大圓寺
德圓寺
專念寺
誓願寺
本願寺
真教寺
阿弥陀寺

昭春海善澄晉昭信宏修義旌和英敏光昭司崇史好彥真平淨祐宣昭裕之幹雄崇史好彥真平淨祐宣昭裕之正道義篤龍雲真澄宏瑞英尊德無達雄弘彥昌和隆法智全芳典賢璫慶成孝生弘彥徹無達雄弘彥昌和隆法裕道惠由諦雅謙堂直哉廣道隆康純裕

愛媛

南海

山口

伊丹

宇和島 松山 東予 東予 高知 香川 長西 長東 第二 東部 西部 備前 総社 笠岡 倉敷 浜田 特別寺跡 美作 江津

良紀
隆宵
行敬
德然
展之
常信
正伸
真策
信宏
幸衣
寬一
富英
俊曰
了悅
道富
隆道
誇雅
眞岳
牛生
琇雅
眞岳
孝竟
義文
哲孝
敬三
雄一
健爾
和哉
喜盡
隨緣
善成
勇哲
忠紹
信行
善教
元生
哲司
眞澄
隆雄
宏文
哲司
在徹

簡山

石見

福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 三州

沖
碑
鹿
追
宮
第
五
平
大
祓
長
西
東
福
粕
宗
鞍
東
南

袋本戸畠園永賀村木羽部藤野本本柳下林野野中上町田原岡井正江藤子原辻本本登口根次村一川
吉牧一實伸善学智研一信一昭寺東逸一高瑞瑞勝博光雅士善信明憲隆秀佐堅守宗一英善一博事垂

浄土宗開教振興協会 事業報告

協会事業

①出版事業

- ・開教振興協会会報「開教」第34号発行 8,000部
- ・『Pure Land Life』(英語版) 第30号発行 3,000部
- ・月刊カレンダーポルトガル語版
(南米開教区へ) 4,000部

文化局から贈呈

- ・月刊カレンダー ハワイ開教区 650部
北米開教区 335部
オーストラリア開教地 50部
フランス開教地 30部
国内開教地域(1ヶ寺) 50部
- ・宝曆 ハワイ開教区 60部
北米開教区 85部
オーストラリア開教地 50部
フランス開教地 30部
国内開教地域(1ヶ寺) 50部

②推進協力事業

1. 国内開教地域への支援

- (1) 浄土宗新聞・行事シリーズ・かるな・てらこやブック配布

浄土宗国内開教指定地域に対し、指定解除まで無償配布(1ヶ寺)

2. 海外開教区への支援

- (1) オーストラリア開教地 東日本大震災追悼法要事業
オーストラリアお盆法要事業
絵本読み聞かせ事業
(オープンデー・寺子屋事業)
- (2) フランス開教地 「仏教の集い」および
「創立記念日法要」事業

3. その他事業

- (1) 第7回開教カンファレンスの開催

【日 時】 平成29年3月16日(木)
午後1時～午後4時30分

【会 場】 大本山増上寺 慈雲閣

【内 容】 海外・国内ともに「寺院離れ」が進む中で、若手僧侶が今まで仏教に縁の無かった方々に対して、新たに「ご縁」を結ぶことに積極的に活動している。その現状と今後の課題を考察する。

入会員数
開教振興協会
浄土宗

平成28年度 入会員数	
名譽会員	0名
賛助会員	0名
正会員	1,123名

一般寄付納入者		〔所属は納入時〕 平成28年4月1日～平成29年3月31日	
〔教区〕	〔組〕	〔寺院名〕	〔氏名〕
東京	八王子	林海庵	笠原 泰淳
山口	長西	東山寺	原 勇哲
東京	芝	天光院	真野 威人
北部	香念寺	下村 達郎	一〇〇,〇〇〇円
			六〇〇,〇〇〇円
			フランス開教地へ
			一〇,〇〇〇円
			一〇〇,〇〇〇円

浄土宗開教振興協会 役員名簿

平成29年12月31日現在

役職	氏名	教区・役職	所属寺院
会長	豊岡 鎧尔	宗務総長	
副会長	杉山 俊明	社会国際局長	
	川中 光教	教学局長	
	大橋 章孝	奈良	阿曰寺
理事長	樋口 英信	福岡	長徳寺
副理事長	田中 康道	尾張	雲谷寺
常務理事	神田 真晃	大阪	法善寺
	本田 行敬	石見	極楽寺
	江口 隆定	千葉	大蓮寺
理事	茂木 恵順	群馬	雲晴院
	吉水 仙昭	奈良	迎乘寺
	野村 定弘	北海道第一	直行寺
	中村 瑞貴	宮城	愚鈍院
	千野 法人	千葉	最勝院
	川村 一紀	静岡	西福寺
	井口 信道	新潟	淨念寺
	浦上 博隆	兵庫	常楽寺
	大江田 紘義	宮城	西方寺
	笠原 泰淳	東京	林海庵
監事	大谷 秀穂	東京	法然寺
	山川 正道	滋賀	正福寺

平成 28 年度
浄土宗開教振興協会歳入歳出決算書

平成 28 年 4 月 1 日～同 29 年 3 月 31 日

基本資金部【歳入の部】

(単位 : 円)

款項	目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	会費収入	200,000	0	△ 200,000			
1.	特別会費収入	200,000	0	△ 200,000			
1.	名譽会員会費収入	0	0	0	1. 名譽会員会費	0	100万円×0人
2.	賛助会員会費収入	200,000	0	△ 200,000	1. 賛助会員会費	0	20万円×0人
2.	積立金受入収入	143,810,000	143,810,000	0			
1.	積立金受入収入	143,810,000	143,810,000	0			
1.	積立金受入収入	143,810,000	143,810,000	0	1. 積立金受入金	143,810,000	
3.	返済金収入	0	0	0			
1.	貸付金返済収入	0	0	0			
1.	貸付金返済収入	0	0	0	1. 国内開教指定寺院 貸付金返済金	0	
歳入合計		144,010,000	143,810,000	△ 200,000			

基本資金部【歳出の部】

(単位 : 円)

款項	目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	積立金積立	144,010,000	143,810,000	△ 200,000			
1.	積立金積立	144,010,000	143,810,000	△ 200,000			
1.	積立金積立	144,010,000	143,810,000	△ 200,000	1. 積立金積立	143,810,000	
2.	貸付金支出	0	0	0			
1.	貸付金支出	0	0	0			
1.	貸付金支出	0	0	0	1. 奨学貸付金	0	
					2. 開教区貸付金	0	
					3. 国内開教貸付金	0	
					4. 運用資金部貸付金	0	
歳出合計		144,010,000	143,810,000	△ 200,000			

運用資金部【歳入の部】

(単位 : 円)

款項	目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	会費収入	11,500,000	11,230,000	△ 270,000			
1.	正会員会費収入	11,500,000	11,230,000	△ 270,000			
1.	正会員会費収入	11,500,000	11,230,000	△ 270,000	1. 正会員会費	11,230,000	会員数 1,123 名
2.	寄付金収入	300,000	810,000	510,000			
1.	特別寄付金収入	300,000	810,000	510,000			
1.	特別寄付金収入	300,000	810,000	510,000	1. 一般寄付収入	110,000	一般寄付金の受入
					2. 指定寄付収入	700,000	指定寄付金の受入
3.	財産運用収入	20,200	17,002	△ 3,198			
1.	資金運用収入	20,200	17,002	△ 3,198			
1.	預貯金利子収入	20,200	17,002	△ 3,198	1. 基本資金利子	16,982	
					2. 運用資金利子	20	
4.	雑収入	0	0	0			
1.	雑収入	0	0	0			
1.	諸収入	0	0	0	1. 諸収入	0	
5.	繰越金	14,000,000	20,119,854	6,119,854			
1.	繰越金	14,000,000	20,119,854	6,119,854			
1.	繰越金	14,000,000	20,119,854	6,119,854	1. 繰越金	20,119,854	平成27 年度会計継越し
歳入合計		25,820,200	32,176,856	6,356,656			

運用資金部【歳出の部】

(単位：円)

款項	目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1. 会議費		2,270,000	1,523,802	△ 746,198			
1. 理事会	1. 理事会	1,700,000	975,462	△ 724,538			
	1. 理事会	1,400,000	975,462	△ 424,538	1. 理事会	975,462	2回開催(旅費)
	2. 常務理事会	300,000	0	△ 300,000	1. 常務理事会	0	
2. 監査会	1. 監査会	50,000	47,040	△ 2,960	1. 監査会	47,040	1回開催(旅費)
3. 企画委員会	1. 企画委員会	520,000	501,300	△ 18,700	1. 企画委員会	501,300	4回開催(旅費)
2. 事業費	1. 出版費	7,650,000	3,486,188	△ 4,163,812			
	1. 会報発行費	3,300,000	2,225,860	△ 1,074,140	1. 開教発行費	725,760	
	2. 教化資料等出版費	2,200,000	1,500,100	△ 699,900	1. 英字冊子発行費	437,880	『開教』発刊 年1回 『Pure Land Life』発行 年1回 教化資料出版／ 教説月刊カレンダー発行(含送料)
					2. 教化資料出版費	1,062,220	
					3. 広報資料費	0	
2. 推進協力費	1. 事業支援費	4,350,000	1,260,328	△ 3,089,672	1. ハワイ開教区	0	
		4,350,000	1,260,328	△ 3,089,672	2. 北米開教区	0	
					3. 南米開教区	0	
					4. 海外開教地事業費	307,400	豪仏事業打合せ訪日旅費
					5. 国内開教指定地域	36,002	教化資料支援費
					6. 企画・調査費	0	
					7. 広報事業費	916,926	カンファレンス運営費
					8. その他事業費	0	
3. 特別指定寄付金		100,000	700,000	600,000			
1. 特別指定寄付金	1. 特別指定寄付金	100,000	700,000	600,000	1. 特別指定寄付金	700,000	指定寄付金の支出(フランス3件分)
4. 補助費	1. 補助費	300,000	0	△ 300,000			
	1. 補助費	300,000	0	△ 300,000			
	1. 補助費	300,000	0	△ 300,000	1. 補助費	0	
5. 涉外費	1. 涉外費	100,000	0	△ 100,000			
	1. 涉外費	100,000	0	△ 100,000			
	1. 涉外費	100,000	0	△ 100,000	1. 涉外費	0	
6. 事務費	1. 事務費	2,151,000	1462,957	△ 688,043			
	1. 事務費	1,000,000	339,957	△ 660,043			
	1. 事務費	1,000,000	339,957	△ 660,043	1. 事務費	339,957	郵便発送費／振込手数料／その他
2. 会員募集事務費	1. 教区還付費	1,151,000	1,123,000	△ 28,000			
	1. 教区還付費	1,151,000	1,123,000	△ 28,000	1. 教区還付費	1,123,000	教区事務費交付(28年度分)
	2. 募集活動費	0	0	0	1. 募集活動費	0	
7. 予備費	1. 予備費	13,249,200	0	△ 13,249,200			
	1. 予備費	13,249,200	0	△ 13,249,200			
	1. 予備費	13,249,200	0	△ 13,249,200	1. 予備費	0	
歳出合計		25,820,200	7,172,947	△ 18,647,253			

本年度運用資金部の歳入総額は ￥32,176,856 である

本年度運用資金部の歳出総額は ￥ 7,172,947 である

したがって、次の会計余剰金が生じたので、翌年度に繰り越す措置を取る

本年度の運用資金部余剰金 ￥25,003,909

平成28年度 振興協会教区別会員数

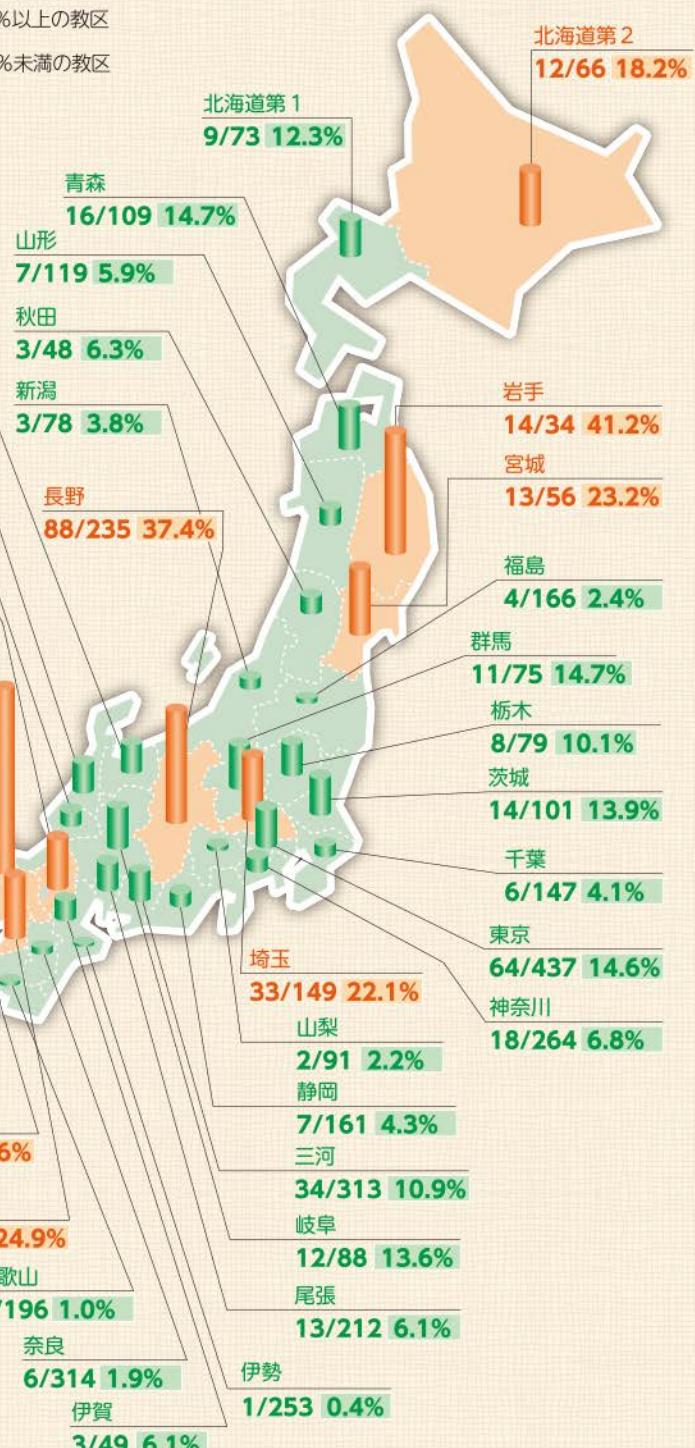
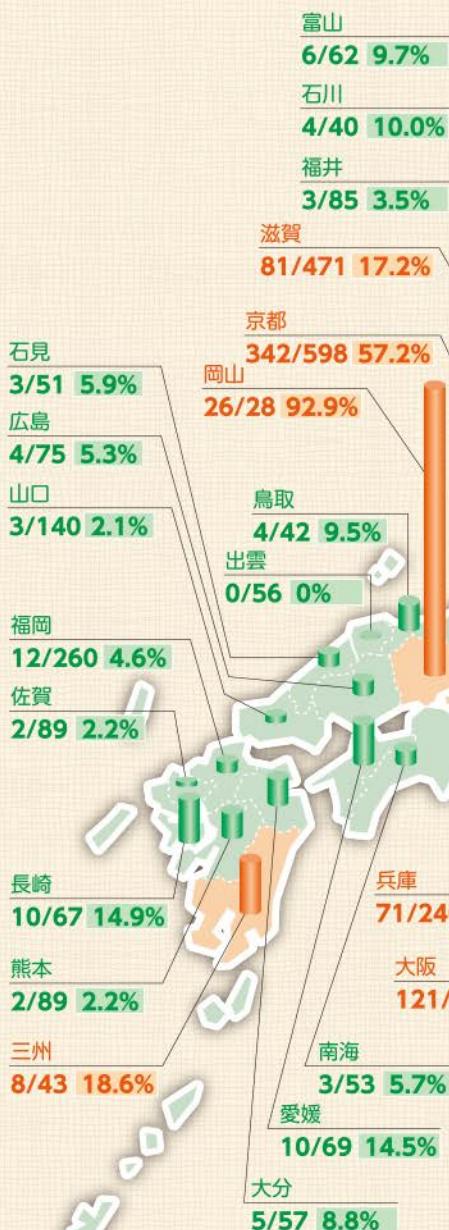
会員数1,200(全寺院数の約17%)を
目標としております。ご協力お願ひいたします。

■ 教区内全寺院数に対する正会員の割合が17%以上の教区

■ 教区内全寺院数に対する正会員の割合が17%未満の教区

教区

正会員数 / 総寺院数 正会員率



海外・国内 開教使募集!!

世界が舞台です！

ハワイ、北米、南米の海外3開教区、
オーストラリア（ブリスベン）、フランス
(パリ)の両開教地が浄土宗の海外開教
の拠点です。

開教最前線で活動する事により、僧侶としてはもちろん、自分自身
の能力向上ともなるはずです。
語学力ももちろん必要ですが、大事なのはあなたの「やる気」です。
興味のある方は左記までぜひお気軽にお問い合わせください。

寺院を建立してみませんか？

あなた自身、国内開教使として開山上人
になつてみませんか？寺院の建立は、
社会情勢の変化や人口流動などが進む
平成のこの時代であるからこそ、必要
なのです。全国に新寺が続々と建立され
ています。機は熟しました。今こそ
あなたのその力が必要なのです。

お問い合わせ先

浄土宗 社会国際局 開教担当

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
Tel.03-3436-3351(代)
Eメール kaikyo-info@jodo.or.jp



浄土宗開教振興協会会報「開教」をご拝読
頂き誠にありがとうございます。
当協会会員の皆様、関係ご寺院の皆様に
おかげましては、平素より格別なるご理解
ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

皆さまご高承のことと存じますが、当協会
では、海外・国内における本宗開教活動の現状
のご報告と、開教活動へのさらなるご支援を
得ることを目的に、毎年、会報誌としてこの
「開教」を発刊いたしており、この度第35号と
なる本号におきましても、海外開教では、各
海外開教区・海外開教地での主な活動状況の
報告。国内開教では、平成29年度、新たに国内
開教地域の指定を受けられた2ヶ寺のご紹介
の他、当協会主催事業の模様を掲載させて
いただきました。

当協会では、本誌掲載のように海外・国内に
おける様々な開教活動に対しその活動の一助
となるべく、種々の支援を継続して行っており
ます。

会員各位におかれましては、今後とも引き
続いてのご支援を賜りますようお願い申し
上げますとともに、末筆となりましたが、本号
発刊にあたり、ご寄稿を賜りました諸師、
編集にご協力いただきました関係各位に
深く感謝申し上げます。

今後とも紙面充実を目指して参りますの
で、有縁の方々のご教導をよろしくお願ひ
申し上げます。

編集後記

合掌

開教

第35号 平成30年3月10日発行

編集／発行 浄土宗開教振興協会
東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会国際局内
Tel.03-3436-3351 Fax.03-3434-0744
制 作 表紙・デザイン：株式会社 北陸スタッフ
印刷：株式会社 共立社印刷所



浄土宗開教振興協会 ご入会のお願い

浄土宗開教振興協会は、昭和51年の設立以来、開教活動を支援してまいりました。

海外開教については、既存の開教区に加えて、平成15年に海外開教地として指定されたオーストラリア、フランスの2地区に対しても支援しております。

また、国内開教についても、多くの国内開教使の活動に対して、平成15年より本格的に支援を開始しております。

新たにお念仏をひろめるための礎が徐々に、確実に進んでおりますが、国内外ともに、これらの事業を円滑に遂行させるためには、開教振興協会の正会員増加による活動資金の強化安定は絶対条件であります。当協会の支援活動を尚一層充実させるため、一人でも多くの教師諸大徳に「正会員」としてのご入会をお願い申し上げます。

※協会の会費・寄付は功績点が付与されます。

※ご入会の有無がご不明な方は、担当までお問い合わせください。

本協会は 次の事業を行なっております

- ① 開教思想の普及徹底
- ② 開教事業の調査研究
- ③ 国内開教指定地域への助成
- ④ 海外開教区・開教地への助成
- ⑤ 開教使の養成

会費の納入および 新会員の入会について

所属教区教務所を経てご納入またはご入会いただくか、下記の口座に直接ご納入くださるようお願い申し上げます。

寄付金および会費振込口座

郵便振替 00160-5-175767
浄土宗開教振興協会

会員の種類

- ①名誉会員 本協会の基本資金として100万円以上の寄付をされた方・本協会に特に功労があり理事会で推薦された方
- ②賛助会員 本協会の基本資金として20万円以上の寄付をされた方
- ③正会員 本協会の運用資金として年額1万円の会費を納入された方

功績点の付与

寄付金および会費については、次のように僧階の功績点が付与されます。

- ①一般勧募寄付金
・20万円に対して1点
- ②個人寄付金
・5万円に対して1点

【問合先】

浄土宗開教振興協会

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 (浄土宗社会国際局内)
TEL.03-3436-3351 FAX.03-3434-0744